



明けましておめでとうございます。冬休みはどのように過ごされましたか。1月は本の福袋の貸し出しと、おみくじを用意しています。楽しい本、好奇心を広げてくれる本に出会えるといいですね。



冬休み特別貸出で借りた本は、1月16日(金)までにお返しください。
返却ポストも利用できます。

常任委員作成！

本の福袋を貸し出し中



福袋の中には学習図書常任委員がテーマごとに選んだ本が3冊入っています。
好きなテーマの袋を選んで、カウンターで借りてください。
どんな本が入っているかは、借りてからのお楽しみ！



四字熟語ラッキーおみくじをひこう！

図書館でおみくじをひいてみませんか。大吉をひいた人は、5冊本を借りられます。ちょっといい言葉の載っているラッキーブックも借りてみて！



図書館前で
で展示中！

『相手の身になる
練習』 鎌田實著
ペリカン社 159才



相手の身になるとはどういうこと？相手にきちんと伝わるように伝えるにはどうすればいい？具体的なエピソードを提示しながら教えてくれます。

気持ちを伝える言葉

『13歳からのアンガーマネジメント』 松井晴香著
合同出版 141マ



怒りは自然にわく感情。我慢しない、後悔しない上手な伝え方とは。



『ツバキ文具店』 小川糸著 幻冬舎 913才

祖母の死後、代書屋を引き継いだ鳩子。借金依頼への断り状、亡くなった夫から妻への手紙など、様々な代筆依頼が舞い込む。本当に伝えたいことを吟味し、心を込めて手紙を書く鳩子の日々の物語。

シリーズ：『キラキラ共和国』『椿ノ恋文』



『本日は、お日柄もよく』 原田マハ著 講談社 B913マ

披露宴のスピーチの途中で、スープの中に顔を突っ込んだこと葉。それをきっかけに「言葉のプロフェッショナル」、久遠久美と出会う。言葉の力を知りつくす久美を師とし、スピーチライターを目指してこと葉の怒涛の日々が始まる。



『こころ』 夏目漱石著
新潮社 文豪913ナ



『手紙』 東野圭吾著
毎日新聞社 913ヒ

日本の神々と文化

『世界でいちばん素敵
な神社の教室』
三才ブックス 175セ



『まんがで読む古事記』 学研 古典913マ



新着図書 ↓①から↓②は下に紹介文があります。★はリクエスト本。

請求記号	書名	著者	出版社
291ヨ	47都道府県ご当地文化百科 14神奈川県	丸善出版／編	丸善出版
291ヨ	47都道府県ご当地文化百科 26京都府	丸善出版／編	丸善出版
365ク	13歳から考える住まいの権利	葛西 リサ／著	かもがわ出版
383サ	戦下のレシピ	斎藤 美奈子／著	岩波書店
383ペ	物語のある和菓子図鑑	ペズル／著	三才ブックス
383マ	古典がおいしい!平安時代のスイーツ	前川 佳代／著	かもがわ出版
588シ	グミがわかればヒットの法則がわかる	白鳥 和生／著	プレジデント社
590タ	正しい目玉焼きの作り方	森下 えみこ／イラスト	河出書房新社
616カ	知れば知るほどおもしろいお米のはなし	柏木 智帆／著	三笠書房
678ジ	13歳からの図解でやさしい貿易	石川 雅啓／監修	メイツユニバーサルコンテンツ
761オ	もっと音楽が好きになるこころのトレーニング	大場 ゆかり／著	音楽之友社
763オ	もっと音楽が好きになる上達の基本オーボエ	大島 弥州夫／著	音楽之友社
763カ	もっと音楽が好きになる上達の基本フルート	神田 寛明／著	音楽之友社
763ク	もっと音楽が好きになる上達の基本トロンボーン	桑田 晃／著	音楽之友社
763サ	もっと音楽が好きになる上達の基本ユーフォニアム	斎藤 充／著	音楽之友社
763サ	もっと音楽が好きになる上達の基本クラリネット	サトー ミチヨ／著	音楽之友社
763タ	もっと音楽が好きになる上達の基本トランペット	高橋 敦／著	音楽之友社
763ツ	もっと音楽が好きになる上達の基本テューバ	次田 心平／著	音楽之友社
763ヒ	もっと音楽が好きになる上達の基本サクソフォーン	平野 公崇／著	音楽之友社
763マ	もっと音楽が好きになる上達の基本コントラバス	前田 芳彰／著	音楽之友社
816テ	手紙の文例・マナー新事典ー気持ちがきちんと伝わる!ー	中川 越／監修	朝日新聞出版
913ウ	変な地図	雨穴／著	双葉社
913カ	★最後は笑ってさよならをしよう	神田 澄／著	KADOKAWA
913サ	わたしのbe	佐藤 いつ子／著	KADOKAWA
913シ	古都琴子は好きに生きるので、あしからず	汐見 夏衛／著	スターツ出版
913ナ	②真昼にも星が光ると知ったのは	梨屋 アリエ／作	ポプラ社
913ヨ	小説青のオーケストラ 4	阿久井 真／原作・絵	小学館
914ア	中学生までに読んでおきたい哲学 1愛のうらおもて	松田 哲夫／編	あすなろ書房
923ル	阿Q正伝	魯迅／[著]	KADOKAWA
B 913ア	赤ずきん、旅の途中で死体と出会う。	青柳 碧人／著	双葉社
B 913イ	マイクロスパイ・アンサンブル	伊坂 幸太郎／[著]	幻冬舎
B 913オ	みつばの郵便屋さん	小野寺 史宜／著	ポプラ社
B 913キ	★ユア・フォルマ 2~6	菊石 まれほ／[著]	KADOKAWA
B 913チ	優しい死神の飼い方	知念 実希人／[著]	光文社
B 913ハ	三千円の使いかた	原田ひ香／[著]	中央公論新社
B 913モ	水曜日の手紙	森沢明夫／著	KADOKAWA
B 913ハ	財布は踊る	原田ひ香／[著]	中央公論新社
文豪 910+	夏目漱石、読んじゃえば?	奥泉 光／[著]	河出書房新社
文豪 930コ	②小泉セツとハーンの物語一小泉八雲「怪談」誕生のひみつ一	三成 清香／著	少年写真新聞社
文豪 913シ	小僧の神様・城の崎にて	志賀 直哉／著	新潮社
文豪 913ホ	風立ちぬ・美しい村	堀 辰雄／著	新潮社
文豪 913モ	山椒大夫・高瀬舟	森 鷗外／著	新潮社
文豪 913ヤ	さぶ	山本 周五郎／著	新潮社
文豪 913ツ	二十四の瞳	坪井 栄／著	新潮社

①『真昼にも星が光ると知ったのは』

中2で念願の親友ができた夏鈴。初めて二人で出かけた帰りに席を譲った白杖の青年や、友人の寝たきりのお兄さんと話をしたことから知った、これまでもあつたのに気づいていなかった世界とは。



②『小泉セツとハーンの物語』



「耳なし芳一」「雪女」などよく知られる怪談は、明治23年に来日したラフカディオ・ハーンと後に妻となった小泉セツと二人三脚で作られた。英語の分からぬセツがどのようにハーンに怪談を伝えたのか。二人の生き方が伝わる。